

新宿美術学院の先生方が **講評** に来てくれました！

- ★ 7月14日(月)美術科3年生の特別授業として東京から新宿美術学院の先生方4名が来校しました。



- ★ 実技テスト(6時間制作)で描いた木炭素描と鉛筆素描をそれぞれ採点していただきました。中心から左側が木炭素描、右側が鉛筆素描です。



★ 木炭で描いた石膏像ゲタ（パリ・ルーブル美術館収蔵、209年～211年に兄のカラカラ帝とともにローマの共同皇帝となる）胸像を講評しました。



★ 鉛筆で描いた静物画（モデルは、スチールパイプの立方体・牛骨・レモン2コ）を講評しました。



生徒は自分の作品の講評だけでなく他の生徒の講評もメモを取りながら真剣に聞いています。



← 作品をクルッと逆さにして「形のくるいは逆さにして見るとよく分かる」とNiceアドバイスに生徒も大きくなずく。

★ 素描の他に専門の実技テストについても各専門の教室（日本画、油絵、彫刻、デザイン<ビジュアル・クラフト>）に移動し、1人ずつ丁寧に講評していただきました。



← これは日本画専攻の実技テスト「着彩画」です。モデルは、ステンレスボウル、ジュースの入ったガラスコップ、折り紙1枚、人参2本、キウイ1コ、半分に割ったキウイ2コ、玉葱1コ、レモン1コ。

各美術大学の实技試験の傾向が聞けたり、放課後は新宿美術学院の参考作品を数多く見る事ができました。

また、3年生は過去に描いた作品も持ち寄って講評してもらいました。

生徒はたくさんの刺激を受け、大きな発見とこれからの課題が見つかりました。

